

## 北九州市「青少年の非行を生まない地域づくり」推進本部

### 平成25年度 第2回「『非行防止』対策部会」

#### 概要

日 時 平成25年8月26日(月) 15:30~17:00  
場 所 ウェルとばた 121・122会議室

#### 出席者

福岡県警本部少年課、門司警察署生活安全課、小倉北警察署少年課、若松警察署生活安全課、八幡東警察署生活安全課、八幡西警察署生活安全課、折尾警察署少年課、戸畑警察署生活安全課、北九州少年サポートセンター、少年サポートチーム、福岡保護観察所北九州支部、小倉少年鑑別支所、北九州市少年補導委員連絡協議会、北九州地区(市)少年補導員連絡協議会、北九州市PTA協議会  
市民文化スポーツ局安全・安心推進課、門司区コミュニティ支援課、小倉北区コミュニティ支援課、小倉南区コミュニティ支援課、若松区コミュニティ支援課、八幡東区コミュニティ支援課、八幡西区コミュニティ支援課、戸畑区コミュニティ支援課、教育委員会指導第二課、子ども家庭局青少年課

#### 会議の概要

- 1 これまで積み残した議題について
  - (1) 中高生の妊娠など性に係る対策
    - ◇問題解決策として男女関係の見直しに加えて、親子関係の見直しに取り組んでいくことも必要。
      - ・低年齢化が懸念されているが、性行為に至る以前の教育が大切なのではないか。
      - ・規範意識教育を年に一回実施するだけでは、不足しているのではないか。
      - ・土曜日授業を活用し、保護者を交え、家庭・学校・地域が連携した勉強会を実施するべきではないか。
    - (2) 有害サイト・メディア対策
      - ◇対策として、保護者に対しての講演を実施していることを説明。
      - ◇優良なフィルタリングソフトをHPで紹介していることを報告。
        - ・本当に伝える必要のある人に伝えるためには、どのような方法が良いのか検討が必要。
        - ・どのようなアクションプランを作成し、実行していくのかが重要。
      - (3) 小学校からの生徒指導體制の強化
        - ◇全小学校の教員や生活指導担当者に対して研修を実施していることを説明。
      - (4) 子どもに関心の薄い親への対応
        - ・保育所を巻き込み、また子育て支援課等とも連携し、親に対するアプローチを図ってみてはどうか。
        - ・妊娠中や育児中の親に対して、各関係機関が連携して教育を実施してみてはどうか。
- 2 家庭・地域・学校の連携強化
  - ◇地域の方々が参加している活動やイベントに関して、区ごとに組織体制を改善し、継続して実施できる体制にすることが必要。
  - ◇必要な事業は拡充し重複する内容の事業は整理するべきである。
  - ◇青少年課で各区へのヒアリングを実施し、現状を把握することから始めたい。
- 3 平成26年度に向けた取り組みについて
  - ◇区から推薦された1~2校区をモデル地域と指定し支援していく予定。